

## 令和元年度

# 第2回 栄区セーフコミュニティ推進協議会 災害安全対策分科会

日時:令和元年 12月6日(金)15時30分から16時30分まで

場所:栄区役所本館 1階会議室

## 次 第

- |   |                    |      |
|---|--------------------|------|
| 1 | 地域防災拠点訓練実施状況報告について | 資料 1 |
| 2 | トイレパックの配布について      | 資料 2 |
| 3 | 家具転倒防止の啓発について      | 資料 3 |
| 4 | 地域防災拠点の看板設置について    | 資料 4 |

## 令和元年度 災害安全対策分科会委員名簿

所 属		氏 名	役 職
座長	栄区連合町内会	磯崎 保和	栄区連合町内会長
副座長	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会	毛利 勝男	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会会長
	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会	加藤 重雄	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会副会長
	栄消防団	加藤 正基	副団長
	栄火災予防協会	角田 宏子	会長
	栄火災予防協会	小石 榮美	副会長
	栄区自衛消防隊連絡協議会	武田 政美	住友電工株式会社 横浜製作所
	栄区社会福祉協議会	小林 朋子	事務局長
	栄区小学校長会	福嶋 圭輔	本郷小学校校長
	栄区中学校長会	佐藤 典之	飯島中学校校長
事務局		見上 正一	栄区副区長
		井上 弘毅	栄区総務課長
		御所脇 佑介	危機管理担当係長
		岩崎 千里	福祉保健課事業企画担当係長
		三浦 正	栄土木事務所管理係長
		牧野 豊	栄消防署予防課長

※敬称略

# 第 2 回 災 害 安 全 対 策 分 科 会 座 席 表

令和元年12月6日（金）  
 15時30分から16時30分  
 栄区役所本館 1階会議室

栄区副区長

栄区連合町内会長

栄区地域防災拠点  
 運営委員会連絡協議会会長

栄区総務課長

見上 正一

磯崎 保和

毛利 勝男

井上 弘毅

栄火災予防協会会長  
 角田 宏子

栄火災予防協会副会長  
 小石 榮美

栄区自衛消防隊連絡協議会  
 武田 政美

栄消防団副団長  
 加藤 正基

栄区地域防災拠点  
 運営委員会連絡協議会委員  
 加藤 重雄

栄区総務課危機管理担当係長  
 御所脇 佑介

栄消防署予防課長  
 牧野 豊

栄土木事務所管理係長  
 三浦 正

栄区福祉保健課事業企画担当係長  
 岩崎 千里

栄区福祉社会協議会事務局長  
 小林 朋子

栄区小学校長会  
 福嶋 圭輔

栄区中学校長会  
 佐藤 典之

事務局

出入口

栄火災予防協会会長 角田 宏子			栄区総務課危機管理担当係長 御所脇 佑介
栄火災予防協会副会長 小石 榮美			栄消防署予防課長 牧野 豊
栄区自衛消防隊連絡協議会 武田 政美			栄土木事務所管理係長 三浦 正
栄消防団副団長 加藤 正基			栄区福祉保健課事業企画担当係長 岩崎 千里
栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会委員 加藤 重雄			栄区福祉社会協議会事務局長 小林 朋子
			栄区小学校長会 福嶋 圭輔
			栄区中学校長会 佐藤 典之

## 令和元年度 地域防災拠点における防災訓練実施状況

災害安全対策分科会においては、地域防災拠点における訓練について、「防災訓練」から拠点の開設・運営に焦点を当てた「拠点運営訓練」へのシフトを推進しております。

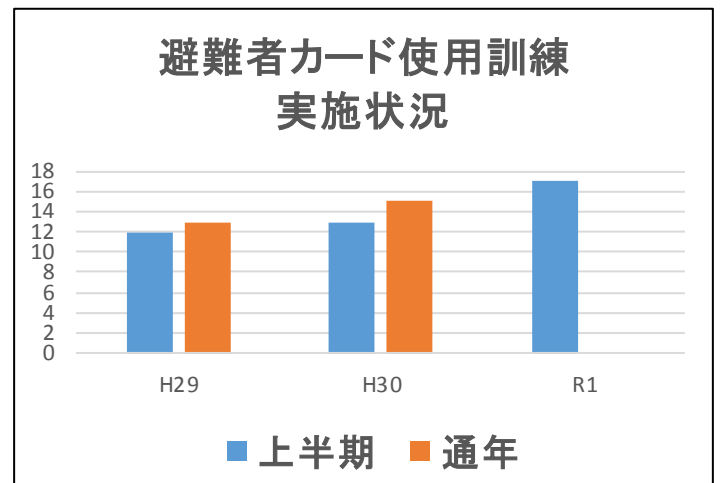
今年度、本分科会では避難者受付訓練とトイレ対策の推進に特に力を入れており、各拠点に二つの項目を訓練の必須項目として実施をお願いしています。本年度は、年度途中の段階ですが、どちらの項目も高い実施率を記録しています。(別紙1 令和元年度訓練実施状況(11月末時点まで)参照)

### (1) 避難者受付訓練について

避難者受付カードを使用して受付訓練を実施している拠点がすでに、平成 29 年度、平成 30 年度の一年を通しての数を超えており、実践的な訓練が行われているといえます。

しかし、独自の様式を使用している拠点もあるため情報の質に差が出る可能性があります。

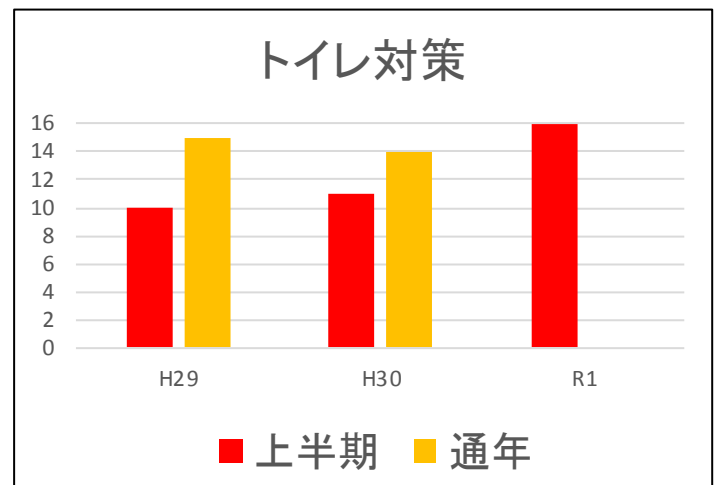
それを解消するために、本分科会では、避難者カードを使用する目的の周知と併せて統一の様式(別紙2、3参照)を推奨していき、独自の様式を使用する際にも、必須の項目を入れるように指導をしていきます。



### (2) トイレ対策について

トイレの対策についても、平成 29 年度、平成 30 年度の年間通して行った拠点の数をすでに超えており、各拠点の意識の向上が見受けられます。

過去の震災による避難所生活においてもトイレ対策は重要であり、健康管理の面からも欠かすことのできない項目になりますので、トイレパックの啓発等を通して、各拠点のトイレ対策への意識をより高めていきます。



## 令和元年度 地域防災拠点訓練実施状況（11月末時点まで）

学校名	避難者の受付	トイレ	情報受伝達訓練	特設公衆電話	区割り	炊出し	要援護者対応	学校・企業との連携	その他特徴ある訓練
飯島小学校	○	○	○						
豊田小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	
千秀小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	負傷者搬送訓練
笠間小学校	○	○	○	○	○	○		○	
本郷台小学校	○		○	○	○	○		○	ペット同行訓練
西本郷小学校	○	○	○		○	○	○		ペット同行訓練
小菅ヶ谷小学校	○	○	○	○		○		○	負傷者搬送訓練 夜間対応訓練
小山台小学校	○	○	○	○				○	ペット同行訓練
桜井小学校	○		○	○	○				
桂台小学校	○	○				○			
公田小学校	○	○	○		○	○		○	
上郷小学校					○				
庄戸小学校	○	○	○	○	○		○		ペット同行訓練
旧野七里小学校	○	○	○	○		○		○	負傷者搬送訓練
飯島中学校	○	○	○	○		○		○	負傷者搬送訓練
西本郷中学校	○	○	○	○	○		○	○	HUG
本郷中学校	○	○	○		○		○		
桂台中学校	○	○							
旧庄戸中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	ペット同行訓練 負傷者搬送訓練 夜間対応訓練

※赤いセルは避難者カードを使用した拠点

## 避難者カード(兼 安否確認票)

No.

学校地域防災拠点

※ みなさまの安否情報の問い合わせについて、ご希望の番号にチェックをつけてください。  
問い合わせに・・・

1 下記の情報を公表しないでください。

2 下記の情報を公表しても結構です。(インターネットでも検索できます。)

3 一部の項目だけ回答しても結構です。

(回答してもよい項目にチェックをつけてください。インターネット検索時、チェックした項目のみ表示されます。)

< 住所(区町名まで) 性別 年齢 身体の状態 所在場所 >

※1世帯で1枚記入(下線の引かれた項目は、必ず記入してください。)

確認者

避難した日時	年 月 日 :	
退去した日時	年 月 日 :	
避難生活区画	<input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 教室(階 年 組用) <input type="checkbox"/> _____	
住 所	〒 _____ 区 町 丁目 番 号 *アパート・マンション名	

同居家族全員を記入してください。

フリガナ 氏 名(NAME)	性別	年齢	身体の状態	所在場所	備 考 ※原則非公開ですが、 インターネット検索時 に、備考を表示する場 合は「 <input type="checkbox"/> 表示する」に チェックしてください。	電話(携帯)番号 (インターネット検索 用)
災害活動に関する 特技・資格など						
	男・女		<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害があります <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する	- -
	男・女		<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害があります <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する	- -
	男・女		<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害があります <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する	- -
	男・女		<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害があります <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する	- -
	男・女		<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害があります <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する	- -

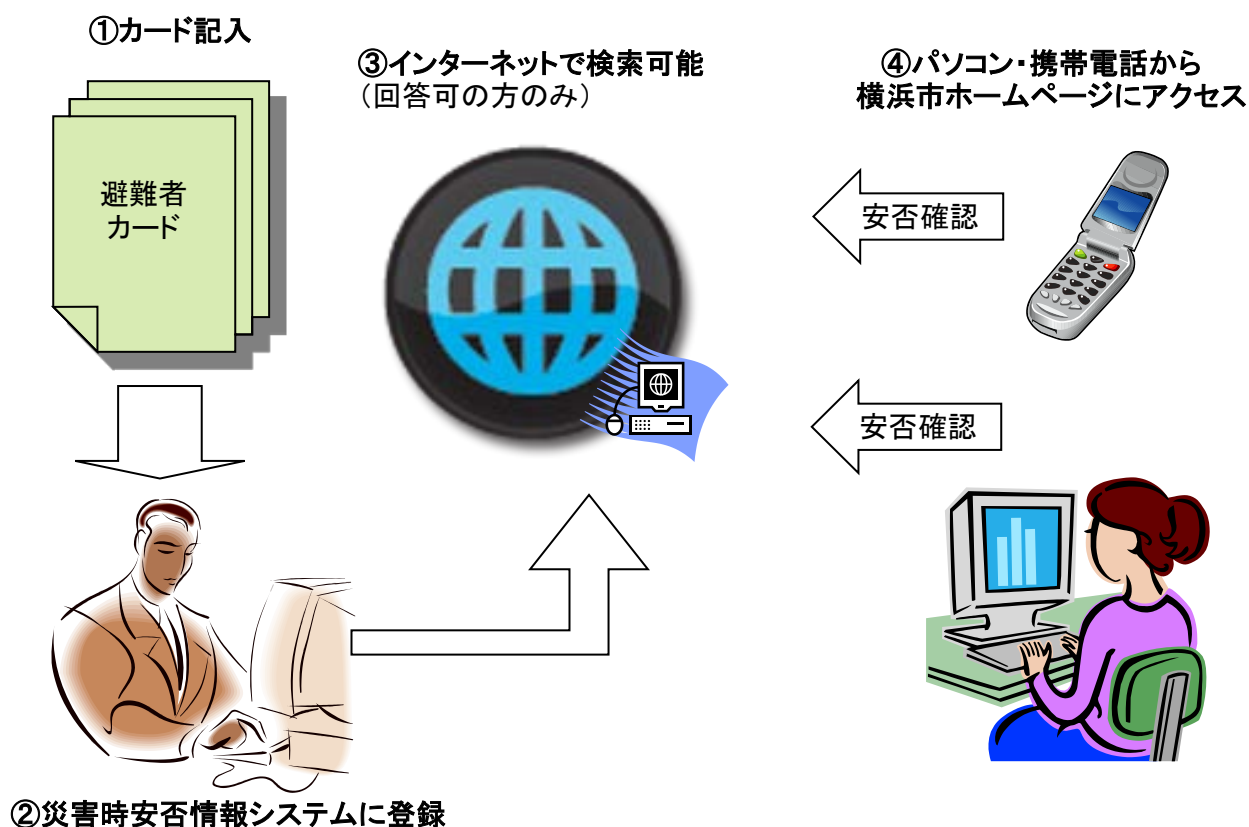
※電話番号及び携帯番号は検索用にのみ利用し公表はしません。

※本情報は、災害時のみの利用とし、災害対策本部の廃止後に消去します。

## 避難者カード(兼 安否確認票)の 各必須項目をご記入いただく目的

- この地域防愛拠点、あるいは地域防災拠点以外の場所(自宅など)にどなたがいらっしゃるかを把握します。
  - 避難者とそのご家族の安否情報を把握します。
  - ご記入いただいた内容を災害時安否情報システムに登録し、避難者情報を災害対策本部と共有します。
  - インターネットで避難者とそのご家族の安否情報を検索できるようにします。  
(カードの記載内容の公表につき、承諾された方のみ)
- ※ 検索時に、氏名及び電話番号を入力しますので、カードの記載内容の公表につき、承諾された方は電話番号をご記入いただくことをお勧めします。  
(同姓同名者がいた場合、個人を特定する情報となります。)

### 【避難者カード(兼 安否確認票)運用のイメージ】



## トイレパックの配布について

令和元年度、災害安全対策分科会では地域防災拠点でのトイレ対策に特に力を入れており、その取り組みを進めています。

上半期の訓練が終わり、16 拠点においてトイレの訓練を行われました。その中の6 拠点においてはトイレパックを使用した訓練が実施されました。トイレパックはコンパクトで数も用意しやすく、また簡単に使えるため、発災時に最も使用される頻度が高いと考えられます。下半期はトイレパックを使用した訓練にも力を入れていただくため、各拠点にトイレパックを50 個配布する予定です。



配布するトイレパックのイメージ

トイレパックの実演の様子

配布したトイレパックは拠点訓練において積極的に使用してもらい、実際に使える人を増やしていけるよう、啓発を進めていきます。

### ※訓練例

- ①組立トイレ等に ②水を入れた後、 ③排便袋を取り出し  
排便袋をセット → 凝固剤を振りかけて → 口を結んで可燃ごみ  
します。 固めます。 として処分します。

※ペットボトルや紙コップなどを使って、凝固剤の体験も簡単にできます。



## 家具転倒防止啓発について

平成 29 年度に実施した区民意識調査の中で「あなたの家では、震災等の災害に対する備えをしていますか。」という質問で、家具などの転倒防止対策をしていると答えた人の割合は 21 パーセントでした。

それを受けて平成 30 年度は拠点訓練や、拠点の運営委員会など、訓練に集まる人を中心にチラシを配布していましたが、令和元年度は不特定多数の人が集まるイベントにて、チラシ配りを実施し、家具転倒防止の啓発を行っています。

### ① 救急の日（9月9日）

大船駅で栄消防署がチラシ配りを実施し、通行人に 500 部配布して啓発しました。



### ② 防災講演会（9月26日）

栄公会堂で行われた防災講演会にて、来場者に 200 部配布して啓発しました。

### ③ 区民まつり（11月2日）

（救急の日チラシ配りの様子）

本郷中学校で行われた区民まつりで、参加者に 100 部配布して啓発しました。

### ④ 消防署が行うチラシ配布（通年）

消防署が行っている住宅用火災警報機の設置啓発事業の防災訪問の際に、合わせて家具転倒防止チラシも配布していただきました。10 月末時点で区内在住の 65 歳以上の方 247 人に啓発を行いました。

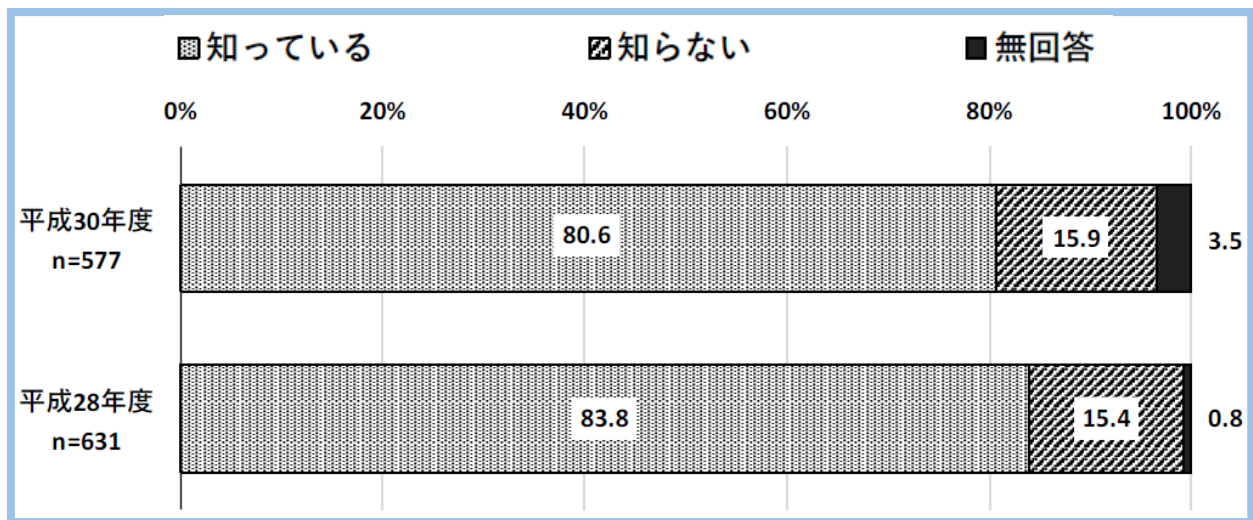
また、公益財団法人かがやきクラブ横浜が本郷地区センターで、市内の概ね 60 歳以上の方を対象に高齢者の教養の向上・健康の増進並びに時代に適応した社会感覚と知識を深めるための学習活動として行った「横浜シニア大学」にて 40 人にチラシを配り啓発を実施しました。

啓発の効果については、本年度実施する区民意識調査の結果で判断します。

## 地域防災拠点での看板の設置について

(1) セーフコミュニティで行ったアンケート（平成 30 年度と平成 28 年度）について

問「地区で震災時に避難する地域防災拠点がどこかを知っていますか」



※アンケートは隔年で行っており、区内に居住する 20 歳以上の男女 1,500 人に調査を実施し、n=〇〇は回答者の人数を表しています。

(2) 地域防災拠点看板設置について

平成 30 年度は平成 28 年度に比べて、自分が避難する拠点を知っている人の割合が 3.2 ポイント下がったという結果が出ました。（上記アンケート参照）

そこで、避難所の周知啓発の一環として、地域防災拠点に右記のような看板を設置します。

（最大たて 600mm×よこ 900mm）

現在、区内で恒常的に看板を設置している拠点はなく、設置することで、震災時に自分が逃げる拠点を知っている人を増やしていきたいと考えています。



（イメージ）